

唐桑半島ビジターセンターリニューアルに伴い 「津波体験館」が閉館となります ～営業は6月26日（日）まで 38年の歴史に幕～

- 津波の恐ろしさを映像や音・風・揺れなどと疑似体験できる施設として、唐桑半島ビジターセンターに設置されていた津波体験館が、唐桑半島ビジターセンターのリニューアル工事による休館に伴い、令和4年6月26日（日）の営業をもって閉館となります。
- 津波体験館は、三陸復興国立公園である唐桑半島の来訪者インフォメーションを目的に開館した唐桑半島ビジターセンターの展示の一部として昭和59年開館しました。津波の恐ろしさを疑似体験できるわが国で唯一の画期的な施設であったこともあり、最盛期には年間約6万3千人（平成3年）が入館していましたが、近年は入館者数が落ち込み、震災後のリニューアル（平成25年）で一時上向いたものの、ここ数年の入館者は5千人を割り込んでいました。
- 利用が低迷する唐桑半島ビジターセンターのリニューアルとあわせ、唐桑地区の観光活性化を検討する唐桑観光活性化委員会（鈴木淳平委員長）で検討を重ね、新たなビジターセンターは、唐桑オルレなどのこれまでの取組みを活かし、シャワー施設、物販コーナーなどを設置したアウトドアの中核となる施設として整備する予定となりました。それに伴い津波体験館の現在の形での展示は終了となります。
- これまで津波体験館が担っていた津波の記憶・教訓の伝承という機能は、東日本大震災遺構・伝承館へ集約されますが、ビジターセンターリニューアル後の展示においても、三陸ジオパークである唐桑半島で、海の恵みを受けながら生きる人々の営みと表裏一体となる津波災害の脅威や発生のメカニズム、津波の記録を VR（映像による仮想現実）などの技術を用い伝えていきます。

- リニューアルした唐桑半島ビジターセンターは、来年春以降オープン予定です。

■唐桑半島ビジターセンター 津波体験館

〒988-0554 宮城県気仙沼市唐桑町崎浜 4-3

TEL 0226-32-3029 開館時間：8:30～16:30 休館日：毎週火曜日（但し当日が祝日の時は翌日）